

基幹システムより、品種や区分、など条件を指定した似たような帳票が複数あり、営業担当者がそれぞれ要求しているものに対応した結果不要な帳票や現在利用されているかわからない帳票が多くなった。それだけでなく、営業担当者は基幹システムにない帳票(データ)を要求するようになり、事務担当がデータ転送を行い要求された情報を逐次作成していた。新システムへの切替に伴い、一般的なチェックリストは基幹システムより印刷を行い、営業資料や経営資料に関するデータはDr.Sumへ情報を集約した。営業担当者は、見たい時に必要なデータを瞬時に確認できるようになり、また事務担当者は、本来の業務へ集中できるようになった。

